

# GOVERNOR'S MONTHLY LETTER

坂川河津桜 松戸



**IMAGINE  
ROTARY**  
**Rotary**  
District 2790

2023  
February 2

ガバナー月信 Vol.8

発行／2023年2月1日  
COPY FOR MEMBERS

To Club Presidents and Secretaries in District 2790 (CHIBA)

地区スローガン

**「ロータリーの仲間との信頼を繋ぎ、  
千葉から世界を変えていこう！」**

国際ロータリー第2790地区 2022-23年度

ガバナー 小倉 純夫(松戸RC)



## 公式訪問を終えて 「IMAGINE ROTARY」を想う

昨年12月14日を以って、ようやく当地区内82クラブの全ての公式訪問を終えることが出来ました。ガバナー補佐の皆様、そして私を温かく迎え入れていただいた各クラブの会長、幹事そして全ての会員の皆様、ありがとうございました。公式訪問の感想、そしてクラブ活性化についての私の提言等は改めまして別の機会に述べさせていただきます。まずは、ありがとうございました。

さて、今月は「平和構築と紛争予防月間」です。昨年2月から始まったロシアによるウクライナ侵攻、そしてその後の戦争の被害の状況は、目を覆いたくなる惨状です。一日も早い戦争の終結を願うば

かりです。私達ロータリアンは、ウクライナの支援のための、寄付や募金活動を行い、さらには地区として簡易宿泊施設の寄贈を行いました。しかし、テレビに映しだされる惨状を見つめながら、それ以上何も出来ないもどかしさを強く感じています。本年度RIのテーマ「IMAGINE ROTARY」は、元ビートルズのジョン・レノンの「IMAGINE」という曲からインスピレーションを受けたと、ジェニファーE. ジョーンズ会長は仰っています。現在、「戦争のない世界」を想像することは難しいところですが、ロータリーの究極の目的は、国際理解と世界平和の実現です。そのために、私達ロータリアンは、これまで平和フェローの育成、青少年交換、財団奨学生の派遣、米山記念奨学生の支援、さらには世界中のポリオ根絶の活動によって国際理解と世界平和に向けた様々な活動を続けています。私は、これらの地道な青少年への奉仕活動や世界平和へ向けての様々な活動によって、いずれ真の国際理解と世界平和が実現されることをイマジン(想像)しています。

私達はロータリーの例会での話合い、切磋琢磨を通じて「良き友人」を得ることができ、「奉仕の理念」すなわち人に対する思いやりと他人のために尽くすことを理解することによって「自分の周りにいる人すべてが大切な人」ということを会得出来ます。そして「Cosmic Consciousness(天地の理法)」すなわち「The reality of the brotherhood of





# 平和構築と 紛争予防月間に 寄せて

国際ロータリー 第 2790 地区  
2022-23 年度  
ロータリー平和フェローシップ委員会  
委員長  
**森正 浩造** (松戸 RC)

本来であればこの月間に於いて今年度国際基督教大学(ICU)で学ぶ当地区担当の平和フェロー3名にインタビューし、平和フェロープログラムへの志望動機やICUで何を研究しているか、卒業後の希望進路等、会員の皆様にご紹介したかったのですが、諸事情により一年入学延期や自然災害や兵役で入学辞退となってしまいました。難関を突破して掴んだ平和フェローご本人にとっては、とても残念でありましたでしょう。また機会があれば再び応募していただきたいと思います。そして現在のところ次年度平和フェローにつきましては、キプロス(女性)・ポーランド(男性)・アメリカ(男性)の3名の平和フェローを当地区で支援させていただく予定でございます。

さて3月にはコロナ禍で中止になっていました平和フェロー(17名)の広島研修旅行が予定されています。平和記念資料館見学や被爆体験者との交流、慰靈碑参拝等、世界で唯一の核被爆国日本について広島で様々な体験をすることで平和への思い

をさらに強くし、平和フェローとして今後の平和活動の原動力となれば幸いです。

「世界平和の構築」は国際ロータリーが最優先課題として掲げる「ポリオ根絶」に次ぐ重要プログラムでございます。日本が平和国家ということもあるでしょうが、応募が少ないのが現状で、今までの日本人フェローは、プログラム開始以来38名(フェロー全体の2.5%)にとどまっています。しかしNGOやNPOを通して海外で平和活動に従事する若者も増えていますので、是非このプログラムを有効に活かしてほしいものです。ロータリアンの方々にこの平和プログラムをよく知っていただきために、当委員会としても地道に広報活動を続けていきたいと思います。そして平和活動の推進にはお力添えいただきたく存じます。

今年も2月から2024-25年度平和フェローの募集が始まります。下記に平和フェロー申請プロセスを掲載させていただきましたので、ご一読のほどお願い申し上げます。

## 【ロータリー平和フェローシップへの申請】

1. [rotary.org/ja/peace-fellowships](https://rotary.org/ja/peace-fellowships) で申請資格を確認(申請は2月に受付開始)
2. 各ロータリー平和センターのカリキュラム・プログラムを確認  
申請書には、志望する平和センターを修士号プログラムの場合は二つ、専門能力開発修了証プログラムの場合は一つまたは二つ、志望順に入力します。
3. 申請者は地元のロータリークラブと連絡を取り、クラブによる推薦をお願いします。クラブに推薦を依頼する前に、必要とされる申請資料を揃えておくと良いでしょう。なお、地区から既に推薦を受けている場合はクラブによる推薦を受ける必要はありません。
4. 申請の過程で地元クラブの例会・ロータリー活動に参加して関係を深めましょう。
5. 申請者はオンライン申請書に必要事項を入力し、5月15日までにロータリー財団(TRF)に提出。  
申請書と補足資料は英語で記されたもの。
6. 地区は面接を行った後、被推薦者に関する必要書類を7月1日までにロータリー財団(TRF)に提出。  
地区との面接は必須条件です。
7. ロータリー財団による選考の結果は11月に申請者へ通知
8. 最終的に選出された平和フェローは、各大学に入学申請を提出(修士号取得プログラムのみ)



申請はこちらから





## RID2790地区 第5グループ 情報研修会報告

国際ロータリー 第 2790 地区  
2022-23 年度  
第5グループ ガバナー補佐  
**梶 晖芳** (木更津 RC)

11月26日(土)午後2時より東京ベイプラザホテル(木更津市)において、「ロータリーを楽しもう」というテーマで情報研修会を開催しました。新型コロナ感染防止のために参加人数を制限し、グループ傘下7クラブの会長、幹事、クラブの在籍年数の浅い会員を中心に41名の参加がありました。前半は、ロータリー活動を通して地区内外のロータリアンと知遇を得て、現在ロータリー活動を深められている当地区柏西RCの水野晋治氏、第2750地区東京中央RCの太田嘉正氏にお話しいただきました。水野氏は地区ロータリー財団委員会副委員長、地区社会・職業・国際奉仕統括委員長を歴任し、タイ国少数民族のアカ族の支援団体「輝く瞳に会いに行こう」の事務局長を務めるなど、行動派のロータリアンです。太田嘉正氏は39年間にわたり、フィリピンでの歯科医療支援を行ってい

ます。また、ポリオワクチン接種活動に参加し、子どもたちに接種される経験もされています。数々の奉仕活動により2018年3月「超我の奉仕賞」を受賞されています。

後半は、参加者を6グループに分け各テーブルごとのディスカッション形式としました。席次については、7クラブの会員がほぼ均等になるように席を決めて、議論を通して交流が持てるよう配慮しました。その後、テーブルごとに発表してもらいました。様々な発表があり、参加者の主体性が見える内容でした。閉会後も参加者が残り、事例発表していただいた水野氏、太田氏と歓談する様子や参加者同士が歓談する様子も見られ、テーマの「ロータリーを楽しもう」の一歩が踏み出せたように思いました。





## クラブの活性化・元気なクラブ作りについて

国際ロータリー 第2790地区  
2022-23年度  
第6グループ ガバナー補佐  
**中村 吉政** (勝浦 RC)

### 【5年後10年後も元気なクラブを作りましょう!!】

新型コロナウイルスの影響により、実に3年ぶりに完全リアル開催できました今年度の第6グループ情報研修会は、天候も良く、美しい自然に囲まれた広々とした会場で、グループ内全6クラブの会員が一同に会して行われました。

はじめに、一昨年に日本のロータリーが100周年を迎えた際の記念式典で配信された「日本のロータリー100年の歩み そして未来へ」のVTRを視聴し、ロータリーの歴史を再確認すると共に、現在のロータリーが行っている様々な奉仕活動について学びました。

続いて、地区より研修委員会の始平堂玄昌委員長をお招きし、「クラブの中長期計画の立案ークラブの活性化にむけて」についてご講演をいただきました。始平堂委員長ご自身が所属する千葉幕張RCで、低迷していたクラブが次第に元気を取り戻していく実体験を基に、クラブが活性化するための具体的な方策などを学びました。

第2部では、各クラブの代表者に登壇してもらい、  
I 「元気なクラブとはどんなクラブだと思いますか」  
II 「クラブ活性化のために取り組んだ事はありますか」

### III「今後のクラブのビジョン(目標)は」

の3つのテーマについて、ディスカッション方式で様々な角度から意見を述べていただきました。ディスカッションを通じて、他クラブの取り組みや実情などを知り得る事ができ、また最後には、この地域における人口減少問題にも触れ、『ロータリーは地域と共に歩み、地域に愛されるべき存在でなければならない』ことを共通認識しました。参加された会員には、本日の研修会で学んだ多くの内容を自クラブに持ち帰っていただき、今後の元気なクラブ作りに向けて大変参考にしていただきますようご期待いたします。



基調講演 始平堂研修委員長





## 第7グループ 「ロータリー情報研修会」 報告

国際ロータリー 第 2790 地区  
2022-23 年度  
第7グループ ガバナー補佐  
**平野 一隆** (大原 RC)

11月29日(火)13:45~16:40 いすみ市「九十九里ヴィラそとぼう」にて、第7グループ「ロータリー情報研修会」を開催いたしました。今回の情報研修会は、コロナ感染拡大防止への配慮と会場の都合により、グループ内ロータリアンすべてを対象とはすることが叶わず、“研修の重要性”の理解を深めていただくために、会長・幹事及び比較的会員歴の浅いロータリアンを中心に少し絞った形でのご案内とさせていただきました。当日は41名の参加者を迎えて、地区研修系三部門委員長3名にお越しいただき、また当グループ杉木禱夫パストガバナーに総評をいただきました。

本来の情報研修会の意味、ロータリー情報としての観点を踏まえ、テーマを『元気なクラブづくりのために』とし二部構成で開催いたしました。

第一部では、小野塚雄地区職業奉仕委員長、山下清俊地区R情報委員長お二方から、参加者に「気づき」のきっかけ、そして各々のロータリー観の醸成につなげていただくことを期待して、「職業奉仕の視点から」「不易流行の視点から」と題しご講演をいただきました。



第二部では、各クラブ会員からの発表をもとに、「元気なクラブづくり」のための“礎”がどこにあり、それが何かを探り当てるまたは見つけ出したいとの思いをもって、始平堂玄昌R研修委員長にコーディネーターをお務めいただき、ディスカッションを行いました。

参加された方々が、何かを感じ、それをクラブに持ち帰り、『元気なクラブづくりのために』役立てていただけましたら意義があったと嬉しい思います。

ご尽力くださいましたすべての皆様に感謝申し上げ、報告といたします。





# 第10グループ 「ロータリー情報研修会」 報告

国際ロータリー 第 2790 地区  
2022-23 年度  
第 10 グループ ガバナー補佐  
**林 康博** (成田コスモポリタン RC)

2022年11月24日(木)13時30分からアートホテル成田において第10グループロータリー情報研修会を開催致しました。昨年は対象者をグループ内の3年未満の会員と、会長、幹事さんを対象に実施されました。今年度は全会員を対象としロータリーへの知識と情報を深める目的として開催致しました。懇親会については第8波新型コロナ感染拡大の影響で残念ながら中止とさせていただきました。

小倉純夫ガバナーは「ロータリーの基本は親睦であり、奉仕です」と提倡しております。その為にはグループ内が、風通しが良くコミュニケーションが取れて相互の交流が活発である事が大事と認識しています。そこで、今回のロータリー情報研修会は、「クラブの活性化、元気なクラブ作りのために」をテーマと致しました。

まず講演Ⅰとしてパストガバナー 青木貞夫様より「ロータリークラブの創設から今日までの歩み、そして今後の動向」というテーマでご講演を頂きました。まずは【ロータリーの歴史、及びRIの統治制度・機構の変換】から【会員の減少とロータリーの規制緩和】そして【ロータリー統治機構の見直しと地域活性化の推進】その後ロータリーと職業奉仕についてご講演を頂きました。

最後に、ロータリアンになった皆さんは、ロータリーを理解し、その活動に関心を持って積極的に参加・参画しよう。そして価値観を分かち合える仲間を見つけて友好を深めると共に、世界で助けを求めている人のためになること、及び平和の実現に貢献しようと締めくくりました。大変内容の充実したご講演でした。

講演Ⅱとして地区ロータリー情報委員会委員長山下清俊様より「もっとロータリーを知り、もっと元気なクラブを目指そう」というテーマでご講演を頂きました。ロータリーの本質的な部分と時代に合わせて変化して行く部分について学ぶ事が出来ました。

講演Ⅲとして地区ロータリー研修委員長 始平堂玄昌様より「クラブの活性化、元気なクラブ作りのために」というテーマでご講演を頂きました。

クラブの現状分析、クラブのビジョンづくり、中長期計画立案の作成がクラブの活性化に繋がる事を学ぶ事が出来ました。

その後「クラブの活性化、元気なクラブ作りのために」というテーマで8テーブルに分かれて、6クラブの会長、幹事がグループ長になって頂き、各テーブルで活発な意見交換ができました。最後に8テーブルの代表者より例会の充実、出席率のアップ、女性会員の入会者拡大、クラブ委員会活動、会員の研修会実施、会員増強等の内容の発表があり大変和やかな雰囲気の中でしたが、真剣に活発な時間を過ごす事が出来ました。

ロータリー情報研修会の成果を2月に開催いたしますIM(インターナショナルミーティング)に繋げていく予定です。

最後になりましたが、ロータリー情報研修会の開催にあたり講師の皆様には事前打ち合わせから親切な御指導を頂き御礼申し上げます。又ホストクラブとして準備して頂きました成田コスモポリタンロータリークラブの皆様に心より感謝申し上げます。





# 千葉科学大学RACの活動や会員増強の取り組み

国際ロータリー 第2790地区  
2022-23年度  
千葉科学大学 RAC 直前会長  
**木原 正稀**  
(提唱クラブ: 銚子RC・銚子東RC)

千葉科学大学ローターアクトクラブは12月現在会員数33名の大学基盤のクラブとなっております。私が大学1年で入会した際は10人いかないクラブでした。そして私が2年生になった際に会長となり会員増強に最も力を入れました。会員増強の為に行ったことは3つあります。

まず1つ目は「自ら様々な地に足を運ぶ」ことです。ローターアクト(以下「RAC」)とは何かをクラブ内でもまずは会長である自分が一番知る必要があると感じました。そうでないと会員を増やそうとなった時にしっかりといた説明ができないと感じたからです。そこで私は、地区行事への参加や、提唱クラブの例会に参加するなどしてRACの楽しさや知識をクラブに持ち帰りました。そして私は大学にて説明会や、教授にお願いをして授業の少しだけお時間を頂きRACとは何かを説明させていただきました。

2つ目が「SNSの開設」です。私自身様々な活動に参加させていただいていることから広報活動にも力を入れたくInstagramにてアカウントを開設し、活動の姿などを投稿しました。

最後に3つ目は「名前の変更」です。大学では一応サークル扱いになっており名前が「千葉科学大学ローターアクトクラブ」となっておりました。しかしこれではなんのサークルか初めて見た人はわからないと感じ名前を変更

しました。変更後の名前は「千葉科学大学ローターアクトボランティア部」に変更しました。私自身これをしたことにより一気に流れが変わったと感じています。

これらの活動を行った結果、会員は大いに増え説明会なども毎年のように行うように代々と繋がってゆき、今現在も会員は増えています。

## 【活動について】

千葉科学大学RACの活動としましては、月に一回例会を開催しています。印象に残っている例会は「アルバイト紹介例会」です。こちらの例会は4月に入った新入生の多くがアルバイトを探していたので、アルバイトしている先輩からどんなところで働いているかをみんなで話し合ったり募集をしたりしました。大学生だからこそできる例会ではないかなと感じました。ほかにもクリスマス例会や海岸清掃、大学の文化祭である「青澄祭」での縁日出店など様々な活動を行っています。

また、提唱ロータリークラブとの交流も頻繁に行っており、いつもお世話になっています。

これらの事により千葉科学大学RACはこれからも第2790地区のクラブとして頑張っていきたいと思っておりますのでよろしくお願ひします。





